

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

なかざわ 榎 隆 中沢ひろたか県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

AI拠点「柏センター」本格稼働へ

県、研究成果波及へ連携

県内企業との 交流機会拡大

中沢議員 柏市内の柏の葉地区で進められていた国の産業技術研究機構によるAI拠点センターである「柏センター」が、いよいよ11月に開所し、来年4月には本格稼働するとの報道がなされている。

「柏センター」では、医療・介護などの分野におけるデータを収集・管理・解析し、効率的に利用できる状態にして提供するとともに、AI技術を活用し、人間と知能化された機械を組み合わせることで、人間が持つ感覚を

商工労働部長 柏センターでは、東京大学等の研究機関との産学連携による研究や、柏の葉地区を舞台と

12月定例県議会一般質問



12月定例県議会で一般質問を行う中沢裕隆県議

ふるさと柏市の発展を願う中沢裕隆県議は12月定例県議会で一般質問に立ち、県政が抱える課題や今後の施策について県執行部に質問しました。柏市の柏の葉地区に産業技術研究機構のAI拠点「柏センター」が本格稼働しますが、中沢県議は同センターとの連携を県の担当者に質しました。また、65歳以上の高齢者の5人に1人がなるといわれている認知症問題を取り上げ、その課題と取り組み状況を聞きました。中沢県議の質疑と県当局の答弁を紹介します。

ラグビーW杯キャンプに備え

中沢議員 柏の葉公園総合競技場では、ジャパンラグビーの公式戦が開催されているが、残念ながらプロや国際基準を満たしていない。そこでどうかがうが、ニュージーランド代表オーランドラックの事前キャンプに向けた県立柏

トラックなど改修

中沢議員 柏の葉公園総合競技場

の環境の整備について、取り組み状況はどうか。

都市整備局長 柏の葉公園

中沢ひろたかプロフィール

□略歴□

- 昭和45年6月19日生まれ
- 麗澤高校・大学卒業
- 柏市議会議員（3期）
- 千葉県議会議員（2期目）
- 総合企画水道常任委員会委員長
- 総務防災常任委員会委員長

□現職□

- 総務防災常任委員会副委員長

した実証実験が行われる予定と聞いており、地域ブランドの向上と併せ、研究過程における機器の試作や改良などへの県内企業の参画が期待されています。

さらに、高度な研究成果は、地域課題の解決や、県民の豊かな暮らしを実現する新たなサービスの創出につながることも期待され、AIなどICTの利活用に向けて、センターは重要な拠点となるものと認識しています。

例えば、AIによる自動運転技術の実証実験など、運転技術の実証実験など、もういたい。例えば、Aーによる自動運転技術の実証実験など、運転技術の実証実験など、もういたい。

内企業との連携に向けた交流機会の拡大や、「地域未来投資促進法」などによる企業支援に努めるとともに、センターの研究成果が県内に波及するよう、連携を深めています。

県としては、センターと県内企業との連携に向けた交流機会の拡大や、「地域未来投資促進法」などによる企業支援に努めるとともに、センターの研究成果が県内に波及するよう、連携を深めています。

内企業との連携に向けた交流機会の拡大や、「地域未来投資促進法」などによる企業支援に努めるとともに、センターの研究成果が県内に波及するよう、連携を深めています。

●千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆 政務調査事務所 TEL.04(7173)4791

県内の認知症高齢者

2025年には35万人に

中沢議員
認知症対策と
課題についてうかがう。国の
認知症施策推進総合戦略、
いわゆる「新オレンジプラン」
では、認知症高齢者の数
は、平成37年度には全国で
約700万人となり、65歳
以上の高齢者の約5人に1
人に達することが見込まれ
ている。このため、今後増加
する認知症高齢者にどのよ
うに対応していくかが、重要
な問題となっている。

健康福祉部長 本県では、
急速な高齢者人口の増加に
伴い、認知症高齢者も増加
することが見込まれており、
国塊の世代が後期高齢者と
なる2025年には、認知
症高齢者は約35万人になる
と推計されています。

このたけ
は、平成37年度には全国で
約700万人となり、65歳
以上の高齢者の約5人に1
人に達することが見込まれ
ている。このため、今後増加
する認知症高齢者にどのよ
うに対応していくかが、重要
な問題となっている。

中沢議員 県の児童虐待相談
所における児童虐待対応件
数はどうか。また、児童虐待
対策の課題や取り組み状況
はどうか。

児童への児童虐待相談 5年間で1・7倍に



議場自席で県執行部に要望する中沢裕隆県議

家庭に近
あるほか、
虐待を受
けた子ど
もたちを

要望 中沢議員 千葉県
議場自席で県執行部に要望する中沢裕隆県議

職が連携しながら、総合的
な対策を進めていく必要が
あると言える。
そこでうかがうが、本県に
おける認知症対策の課題と

中沢議員 県の児童虐待相談
所における児童虐待対応件
数はどうか。また、児童虐待
対策の課題や取り組み状況
はどうか。

健康福祉部長 平成29
年度の県の児童相談所にお
ける児童虐待相談対応件
数は6811件と、5年前
の約1・7倍に増加してい
ます。

深刻化
する児童
虐待に対
応するた
めには、
児童相談
所の体制
を強化す
る必要が
あります。

介護などの関係機関や専門
職が連携しながら、総合的
な対策を進めていく必要が
あると言える。

うかがうが、本県に
おける認知症対策の課題と

域ぐるみで見守るネットワー
クづくり、認知症に関する地
域医療体制の整備、医療・介
護等の多職種連携の推進な
ど、総合的な認知症対策に取
り組んでいるところです。

当センターの指定により、
認知症が疑われる人や家
族からの相談及び鑑別診
断の機会が従来以上に確保
されるとともに、かかりつけ
医や地域包括支援センター
の職員等を対象とした研修
会や、地域住民等を対象と
した講演会の充実が図られ
ています。

県としましては、今後、2
つのセンターが合同で開催
する情報共有や事例検討の
ための協議会などを通じて、
地元市や地元医師会など関
係機関の連携を図り、東葛
北部保健医療圏における認
知症対策の一層の推進を図
つてまいります。

**中沢議員 東京2020
大会に向けた開催機運を、**
**東京五輪に向
け開催機運を醸成**

東葛北部保健医療圏 認知症医療セジタリ

圈内2カ所目を指定

**中沢議員 東葛北部保健
医療圏に2カ所目の認知症
疾患医療センターが設置さ
れたが、その効果はどうか。**

健康福祉部長 県では、
ため児童相談所の体制強
化については、とりわけ児
童福祉司の増員について重
要であるとの指摘がある。
しっかりと取り組むように
要望する。

**中沢議員 知事のトップ
セールスについてうかがう。
これまでの実績と成果はどう
うか。**

県としては、今後予定さ
れている観戦チケットの発
売や、県内で開催される国
際競技大会などの機会も効
果的に活用しながら、幅広
い関係者との連携を更に深
め、県内各地でより一層機運
が高まるよう取り組んでま
います。

**中沢議員 知事のトップ
セールスをきっかけに若者
の交流も始まっています。
さらに、今回初めて訪問
したシンガポールとベトナ
ムでも、現地の食品バイヤー
や旅行会社などから、本県
の農水産物や観光の魅力を
高く評価する声が多く聞か
れたほか、介護をはじめとし
た人材分野の交流でも大き
な手応えが得られました。**

県が、現地の農業者との連
携を実施し、県内事業者の
動きを支援してまいります。

中沢議員 アジア
などを経験しており、トップ
クラスに取り組んでいただ
きたい。

これを契機に、本県の代表
的な農産物である梨やサツ
マイモの輸出が開始されま
った。また、これまでに58
00人を超える現地の高校
生などが教育旅行で本県を
訪れたほか、マレーシアとの
教育交流では、100人を

超える県内高校生、教職員
が、現地を訪問して異文化
体験プログラムや学校交流
などを経験しており、トップ
クラスに取り組んでいただ
きたい。

県として、今後予定さ
れている観戦チケットの発
売や、県内で開催される国
際競技大会などの機会も効
果的に活用しながら、幅広
い関係者との連携を更に深
め、県内各地でより一層機運
が高まるよう取り組んでま
います。

県が、現地の農業者との連
携を実施し、県内事業者の
動きを支援してまいります。

**中沢議員 フエン
シングの大会も開催
されると聞いているので、ゼ
ひ、多くの子供たちが試合
を会場で観戦できるような
取り組みを検討していただ
きたいと思う。**

こうした取り組みが、
2020年に向けた子供
たちの機運を、一層高める
ものになると期待してい